

# 地域企業・担い手交流促進事業の概要について

【令和元年度予算額 2,500千円】

## 事業の概要

### 事業目的・概要

- 我が国の生産年齢人口が減少する中、企業経営にとって、担い手確保は大きな課題となっています。とりわけ、中小企業やベンチャーなど、成長・拡大を志向する企業では、「中核人材」の不足感が顕著です。
- 大企業では、「次世代リーダーの育成」が最重要課題となっており、ベンチャー等の素早い意思決定等の流儀を若手中心に学ばせ、担い手育成やイノベーションの創出につなげる動きが広がっています。また、「人生100年時代」を見据えた、「ミドル人材の活性化」や「キャリア開発・支援」等も課題となっています。
- そこで、本市では、（公財）産業雇用安定センターと連携し、主に大企業在籍者が、一定期間、中小企業に在籍出向することを促進することで、地域企業における担い手不足の解消や担い手の育成を支援するとともに、担い手の交流を促進し、企業間連携の強化等を図ります。

### 制度の特徴

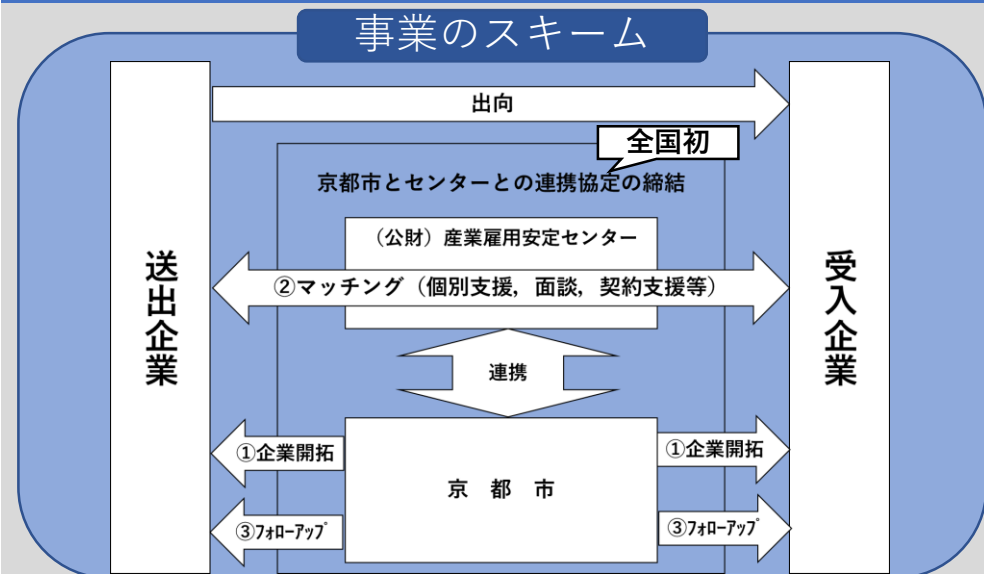
#### ○（仮称）次世代リーダーのレンタル移籍（原則復帰）

- 受入企業：入社10年程度の大企業等在籍者が、中小企業等に一定期間出向し、新規事業開発や本業の強化、組織の活性化等を推進します。これにより、受入企業では、中核的な人材を多様な形式で活用できるようになります。
- 送出企業：社内では出来ない経験を通じて、チャレンジ精神や経営感覚の醸成など、次世代リーダーの育成を促進するとともに、社外ネットワークの構築を図ります。また、次世代リーダーの見える化にもつながります。

#### ○（仮称）ミドル層のインターンシップ（原則移籍）

- 受入企業：入社30年程度の大企業等在籍者が、中小企業等に一定期間出向し、即戦力として、本業の強化や組織の活性化等を推進します。期間終了後、双方の合意があれば、移籍します。これにより、中核的な人材の知識や経験等をお試しのうえ、採用することができるようになります。
- 送出企業：従業員に対し、これまでの知識や経験等を発揮するとともに、出向先企業の業務や社風等をお試しする機会を提供することで、「人生100年時代」を見据えた、セカンドキャリア開発を後押しできます。

## 事業イメージ



#### ① 企業開拓

- 送出企業の人事担当者等を対象とした勉強会を開催し、事業説明のほか、出向経験者や受入企業の紹介等を実施することで、送出企業の開拓を行います。
- 本市認定企業等を開拓のうえ、企業紹介シート作成等の個別支援を行います。

#### ② マッチング

- 出向候補者に対し、キャリアの振り返りや自己分析、模擬面談等の個別支援を行います。
- 送出企業と受入企業との面談及び契約締結を支援します。

#### ③ フォローアップ（案）

- 出向者及び受入企業の経営者等に対し、勤務状況の確認及び支援を行う。
- 効果的なフォローアップと人的ネットワークの形成を図るため、出向者や受入企業の経営者等を一堂に集めた集合研修を開催する。

個別支援と集合研修を組み合わせた独自プログラムを提供予定